



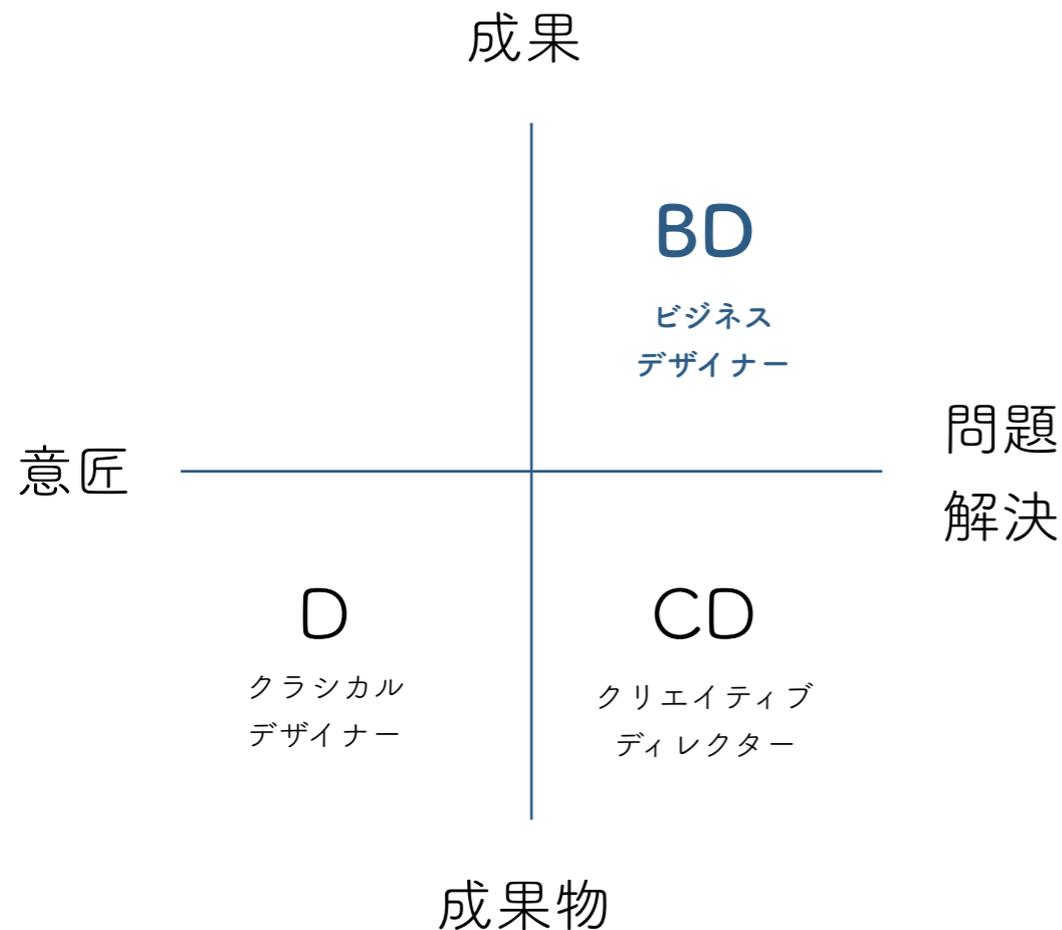
今井裕平 (いまい・ゆうへい)  
kenma代表・ビジネスデザイナー

2019.10.21

Street Medical School 第6回講義

数値で成果を示す  
デザインコンサルタントの  
思考法

数値的な成果を得るために、生活者が抱える問題を解決する活動。



### ビジネスデザインの三要素

- ① 数値的な成果にコミット
- ② 課題に最適な手段を選択
- ③ 生活者の問題を解決

## ゴールを具体的に設定

目的の設定だけでなく、成否の基準となるゴールを具体的に設定。

目的からゴールを具体化していく

生活者の理想的な状態

生活者〇ビジネス視点で  
効果が測定できる指標

例

目的：商業施設の顧客を健康にする

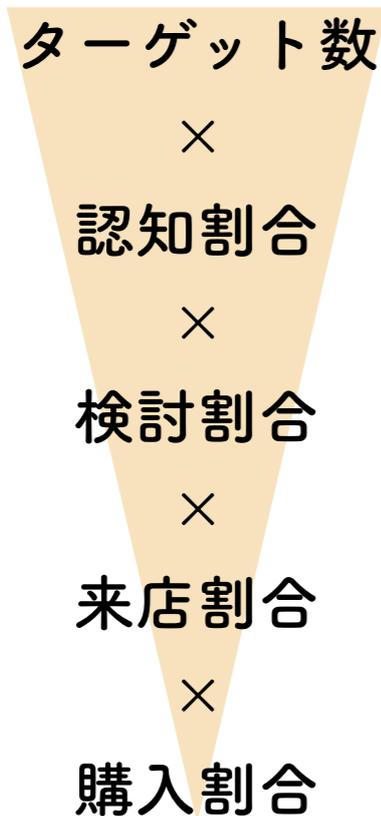
野菜をたくさん食べる

レストランで  
野菜が入ったメニューの  
注文数が増加

## 成功要件を網羅的に把握し注力すべきポイントを明確化

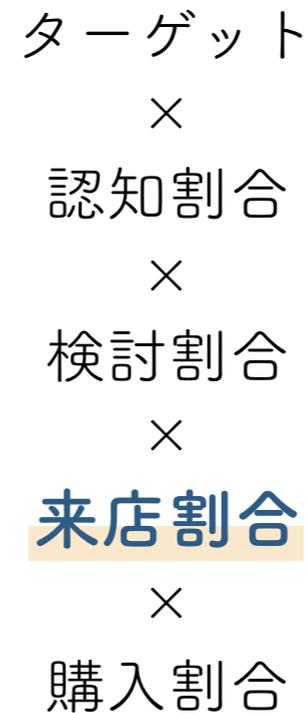
全体を俯瞰しながら成功要件を把握し、より効果の出る要因に対し注力して施策を実行

### 購買プロセスを網羅的に把握



例

### 野菜が入ったメニューの注文数を増やす



来店客の割合を  
増やすことに注力

### 野菜フェアを実施

商業施設内で  
野菜クイズを実施し  
来店の促進

## 今回学んだ内容をフローとして考える



予算や過去の各数値から、施策内容や各指標の設定が適切か精査

商業施設への  
来店者数

目的

商業施設の人を健康にする

平均  
野菜摂取量

理想的な状態

野菜をたくさん食べる

メニューの  
注文数

評価指標

レストランで野菜のメニュー注文数が増える

来店客数

注力指標

レストラン来店客数増加

過去施策の  
費用対効果

施策

野菜フェアを実施